

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 藤田 聡一郎		
共創-23	実施事業	美術館建設準備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化人権課(文化人権推進課)
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針	文化活動の支援・推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	文化を創造するまちづくりに資する施設となる美術館の設置に向けて準備をするため。
効果	鎌倉ゆかりの美術工芸品等の収集及び保存を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・没後30年を記念して「高田博厚展」を開催した。 ・美術工芸品等収集選定委員会の開催、作品の収集、高田博厚作品を含む美術品保管委託などを行った。 ・(仮称)鎌倉美術館についての検討を進めた。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	人口	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数				事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	2,182	2,278		当初予算(千円)	2,293		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	2,182	2,278		一般財源	2,293		
	人員配置数	0.1	0.1		人員配置数	0.1		
	人件費(千円)	757	756		人件費(千円)	779		
事業運営	総事業費(千円)	2,939	3,034		総事業費(千円)	3,072		
	市民1人当りの経費(円)	17	17		市民1人当りの経費(円)	17		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	美術品保管委託料は、保管に適する民間倉庫は近隣では現在契約している企業のみであるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>効率性については、鎌倉市教育文化施設建設基金は教育総務課が所管しているため、「統合に向けた検討は可能」とし、「事業費の削減余地」は「ある」とした。妥当性については、(仮称)鎌倉美術館に展示できるよう、市民等から寄贈された作品の保管を適切に行う必要があることから、「市民ニーズ」は「ある」、「事業の廃止・休止による市民生活への影響」は「小さいがある」とした。有効性については、美術工芸品等収集選定委員会を開催し作品収集をしているものの、(仮称)鎌倉美術館の建設に関し具体的な進捗はないため「更なる努力は必要である」とした。</p> <p>(仮称)鎌倉美術館の整備は、公共施設再編計画基本方針を踏まえ、検討を行う必要がある。</p>
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・(仮称)鎌倉美術館用地等の選定に係る具体的な検討が進んでいない。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	・美術品の適切な収集選定を行うため、美術工芸品等収集選定委員会を開催した。また、既に収集されている美術品の保管委託を行い適切な管理をした。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・(仮称)鎌倉美術館用地等の選定等、具体的な進捗がない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		目標値						
		実績値						
		達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--